

検査機器が入れ替わりました

平成 22 年 10 月 12 日から生化学分析装置・HbA1c 測定機器・凝固測定装置・免疫測定装置が入れ替わりました。生化学分析装置においては、以前は水を使わないドライケミストリー法を用いた分析機を使用していましたが、今回水を使用するウェット試薬による測定法を用いた分析機を導入しました。それに伴う基準値の変更や検査室内の配置替えを行ったので紹介します。

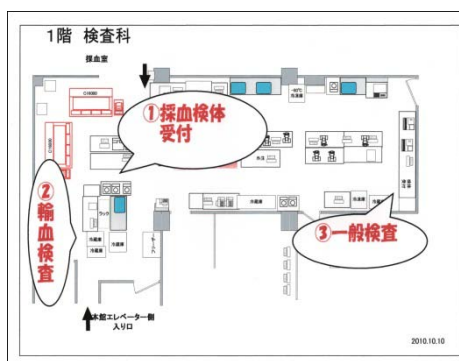
下記写真が新しく導入された生化学分析装置「TBA-c 16000」です。どの生化学項目も機械に乗せてから約 10 分で測定結果が出ます。(再検を行わない場合)

以前の機械より処理能力(スピード)が上がったことで結果報告時間の短縮が期待されます。HbA1c 測定装置・免疫測定装置は従来の機器の上位機種を導入し、測定時間の短縮を図りました。

凝固測定装置は、コンパクトになりとても可愛いフォルムになりました。2台導入したことによりトラブルによる結果報告の遅れが改善されると思われます。近い将来、時間外でも凝固検査ができるように考えています。



TBA-c16000☆ヨロシクね♪



中央検査室の機器配置を変更しました

●●● 愛読書?! ●●● 今回は細菌室お勧めの漫画をご紹介します(*^▽^*)

『もやしもん』

石川雅之／講談社

菌が見えてしまう青年沢木と仲間達が起こす奇妙な農大ライフが描かれています。酵母菌つながりでお酒もたくさん登場しますので、日本酒・ビール大好きな方にもオススメの一冊です♪ (文責：細菌室)



基準値変更のお知らせ

上記、生化学機器の入れ替えに伴い、一部基準値が変更になったのでお知らせします。
主に LIPA, CHE が大きく変更になりました。

基準値変更のお知らせ		2010.10.12～		
項目名	10/12～の基準値 (新基準値)		～10/11の基準値 (旧基準値)	
	下限	上限	下限	上限
TP	6.7	8.3	6.3	8.0
ALB	3.9	4.9	4.0	4.9
T-CHO	130	220	114	220
HDL-C	≥ 40		40	100
LDL-C		<140		<120
TG	30	150	23	152
BUN	8	20	6	20
CRE	0.6 0.4	1.1 0.8	0.5	1.2
UA		≤ 7.0	3.3	7.7
Na	135	147	137	146
K	3.3	4.8	3.6	4.9
Cl	98	108	100	110
IP	2.5	4.5	2.5	4.3
Ca	8.8	10.2	8.84	10.2
GLU	70	110	70	110
AMY	41	112	41	110
LIPA	7	60	29	209
	新測定値→旧測定値への補正には 新測定値×4.3		旧測定値→新測定値への補正には 旧測定値÷4.3	
CK	56 43	244 165	30	210
CK-MB		≤ 15	1	11
T-BIL	0.2	1.2	0.2	1.1
D-BIL	0.0	0.4	0.0	0.4
AST	8	38	10	40
ALT	4	44	5	45
LDH	106	211	115	245
ALP	104	338	115	359
GGT	16	73	9	40
CHE	229	521	3500	8000
	新測定値→旧測定値への補正には 新測定値×24		旧測定値→新測定値への補正には 旧測定値÷24	
CRP		≤ 0.3		≤ 0.3
THEO(治療域)	10	20	10	20

* 正報告書はオレンジに変更になりました。オレンジの報告書からは新基準値をご参照ください。

基準値（正常値）に関して、全国統一化を日本臨床検査技師会が図っていますが、生化学検査ですら統一出来ない項目があります。なぜなら検査方法が統一されていないことがあります。また、人の正常値は地域による食生活によって左右されるとも考えられます。

各施設の正常値は、使用する測定器と試薬の基準値を直接用いる場合と、正常者に協力をいただき正規分布の2SDを正常値としています。したがって各施設で異なっているのが現状です。

済生会栗橋病院臨床検査科